

地方議会の役割と仕組み

首長と対等な関係 行政を監視・チェック

多くの地方議会では現在、3月定例会が開催されています。市民生活の向上へ、身近な暮らしの課題などを中心に議論する地方議会の役割や仕組みを紹介します。また、昨年の台風被害からの復旧・復興、地域活性化をめざす千葉県館山市の市議会本会議における公明党議員の一般質問を取り上げます。



地方自治体は、知事や市区町村の首長を中心とした執行機関(行政)と議員による地方議会(議決機関)で構成されています。

地方自治体の主な仕事は、道路、上下水道の整備・管理、教育、文化の振興、産業の育成、警察、消防など住民の安全確保、福祉サービスの充実、ごみの収集・運搬・処理などがあります。いずれも私たちの身近な生活に深く関わっているものです。地方議会では、こうした事業について審議していきます。

地方議会は、住民によって市議会本会議場の風景。写真は館山市議会にて公明党議員の質問に答える金丸議員(2日)

直接選挙で選ばれた議員で構成され、地方自治体の意思を

決定する議決機関であり、選挙で選ばれた首長の執行機関とは対等の関係で、執行機関を監視する役割があります。

議員は、住民の意見や要望を議会での議論を通じて反映させます。

地域の活性化へ真剣に議論

千葉・館山市

館山市議会の定例会は2月21日から始まり、3月24日まで開催されます。このうち3月2日に行われた一般質問に市議会公明党の龍崎滋議員が立ちました。龍崎議員は、

に続き、新型コロナウイルスの収束が見えない中、観光だけでなく、地域産業が大きな痛手を被ることは避けられないと指摘。この時期の観光の目玉である「いちご狩り」に

市議会公明党 龍崎滋 代表

①ふるさと納税による高額な寄付金の使い道(河川等の防災・減災対策)②幼児教育・保育の無償化の評価とその課題—について質問しました。

館山市議会公明党は2人で、一般質問の前には、質問項目などを綿密に協議して臨んでいます。

館山市は、東京に隣接する自治体。財力のある自治体とは異なり、千葉県の南端に位置し、人口減少、高齢化の真ん中にいます。市民生活をどう向上させ、地域産業をどう活性化させて全体を押し上げ、それを持続可能にしていけるのかを考へ、議員活動に取り組んでいます。

国の流れつかみ質問



定例会前に質問内容の最後の確認を行う龍崎議員(左)と瀨能議員

館山市は、東京に隣接する自治体。財力のある自治体とは異なり、千葉県の南端に位置し、人口減少、高齢化の真ん中にいます。市民生活をどう向上させ、地域産業をどう活性化させて全体を押し上げ、それを持続可能にしていけるのかを考へ、議員活動に取り組んでいます。

定例会

地方議会の定例会は、3、6、9、12月の年4回が一般的です。3月議会は、条例などに加え、新年度予算案などが審議されます。

【代表質問・一般質問】

全議員が出席する本会議で、首長の演説または条例や予算の提案理由の説明などを受けて議員による代表・一般質問が始まります。

【委員会】

議案や請願などは委員会ごとに分かれて専門的に審査します。委員会には、常に設置されている常任委員会と、必要に応じて設置される特別委員会があります。

【閉会】

閉会日(最終日)には再び本会議が開かれます。各委員長から議案審査の結果について報告があり、質疑・討論の上、採決します。請願や陳情、意見書、決議なども、報告に基づき採決などが行われます。

※一般的な議会での審議の流れを紹介したもので、議会によって違う場合があります。

本会議、委員会でも自治体の方向性決める

ニューズな視点

国際医療福祉大学教授 川上 和久

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐことが国民的最重要課題となっている。感染症の専門家で作る厚生労働省のクラスター対策班が北海道の状況を分析し、都市部で気付かないうちに感染した若い世代の人たちが、他の地域に移動して感染が広がり、各地の高齢者の中から患者が報告されるようになったとしている。

政府の要請で、多くの小中学校・高校で3月2日から休校措置が取られており、共働き家庭やシングルマザーの家庭ではどうするのか、さまざまな対策が急遽、取られているが、学校が休みになることで、映画館が混雑するようになったという報道もあった。

コロナ危機を若い世代の飛躍の機会に

東京ディズニーランドやUSJなどのテーマパークも休校だ。学校が休校になったので若い世代が街に出かけて感染が拡大してしまっただ、ということでは元も子もない。専門家は、ライブハウス、カラオケボックス、ハス、カラオケボックス、大人数での飲み会など、風通しの悪い空間や至近距離で会話する場を避けるよう呼び掛けている。

私も読んでいよう公明新聞



「いま知りたい情報」を簡潔に発信

近所の公明議員の勧めで公明新聞の読者となったのは、50年ほど前のことです。私の知る公明議員は誰もが信念を貫き、堂々と「言いたいことを言おう」との姿勢に徹して議員活動に励んでいてと感じます。現在の自公連立政権にあっても、国民の立場から政治を進める上で大きな役割を果たしていると評価しています。

アクリノイネン株式会社 代表取締役会長

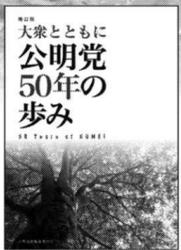
勝本 信一 (和歌山県)

政治や経済から身近な暮らしの話題に至るまで、幅広い分野の記事がコンパクトに掲載されています。「今これを知りたい」と思う情報が簡潔に分かるとも役立ちます。

大衆とともに... 公明党

— 出版物のご紹介 —

公明党の歴史



増訂版 大衆とともに... 公明党50年の歩み

人間の復興へ

東日本大震災 公明党500日の記録



人間の復興へ Vol.2

東日本大震災に挑む与党・公明1000日の記録



人間の復興へ

日本共産党の矛盾と欺瞞

月刊公明 KOMEI

公明グラフィック

点字こうめい